

iCrip

アイクリップマガジン



magazine

2013.12
vol. 27

Doctor's Life Design
Magazine

研修医の声

新東京病院
埼玉石心会病院
春日部中央総合病院
沖縄協同病院

クローズアップエリア

長崎県「新・鳴滝塾」
山口県

ドクタマ 医魂

東京都済生会中央病院 山崎 祐 医師

ねじ子のMedical Life Hacking

実況!!ホームドクターの診察室 孝志郎日記

特集
「医療ニュース」の見方
How to Check the medical news



■研修医のお一人から感染症専門医である古本先生や泉川先生に聞きたいことがあるそ�ですね。

河田医師 現在のお仕事について教えてください。

古本医師 私の場合、感染症内科では基礎研究は現在しておらず、主に臨床と教育に携わりながら、医局長でもあるので事務的な仕事をしています。2年前までは外来医長として院内の各診療科から不明熱や感染症が疑われる患者さんのコンサルトを受け、若い先生と一緒に診てフォローなどもしていました。

泉川医師 私は呼吸器内科の感染症グループ主任と感染制御教育センター長をしています。前者では肺炎や肺化膿症など呼吸器疾患の患者さんを診る一方、後者で

■研修医のお一人から感染症専門医である古本先生や泉川先生に聞きたいことがあるそ�ですね。

河田医師 現在のお仕事について教えてください。

古本医師 私の場合、感染症内科では基礎研究は現在しておらず、主に臨床と教育に携わりながら、医局長でもあるので事務的な仕事をしています。2年前までは外来医長として院内の各診療科から不明熱や感染症が疑われる患者さんのコンサルトを受け、若い先生と一緒に診てフォローなどもしていました。

泉川医師 私は呼吸器内科の感染症グループ主任と感染制御教育センター長をしています。前者では肺炎や肺化膿症など呼吸器疾患の患者さんを診る一方、後者で

多くの微生物を扱い、病気や検査など 違いが多くあるのが感染症の面白さ

個とマクロから
診療と研究で
感染症を学ぶ

感染症座談会 スタート

17病院の
いいとこどりで
初期研修!



「長崎で感染症を学ぼう!!」

長崎大学病院

呼吸器内科 × 感染症内科 (感染症班) (熱研内科)

感染症座談会

長崎大学病院で感染症診療を担う呼吸器内科と感染症内科の専門医2人と初期研修医2人に、その醍醐味を語っていただきました。感染症の面白さや感染症科に向いているタイプなど、感染症にかける医師の情熱が満載です。



Dr.古本

Dr.小林

Dr.泉川

Dr.河田

長崎大学病院

〒852-8501
長崎県長崎市坂本1丁目7番1号
Tel.095-819-7870
<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/>



呼吸器内科
<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/intmed-2/>

感染症内科
<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/internal/nekkennaika.htm>

院内の血液培養レクチャー

かつて研修医の業務を減らすために、血液培養を看護師さんが担当したことがあり、培養経験のない看護師さんには古本先生と石田正之先生(現在、神奈川県の寒川病院)がその目的や方法を講義しました。「コメディカルのレベルを上げることで、病院全体のレベルを底上げできるようプロモーションするのも感染症医の仕事」と言う古本先生。他科の先生にも、発熱がある場合、まずは「血液培養をするように」という意識付けを続けていた結果、現在では感染症に対する周りの意識も少しづつ変わっているそうです。



古本医師 私たちは外科系診療

異なります。僕にとっては、そのような違いがたくさんあるところが面白いと感じています。

古本医師 私たちは外科系診療

異なります。僕にとっては、そのよ

うな違いがたくさんあるところが

面白いと感じています。

古本医師 私たちは外科系診療

異なります。僕にとっては、そのよ

呼吸器内科(感染症班)と感染症内科(熱研内科)

	呼吸器内科	感染症内科
由来・所属	長崎大学医学部内科学教室	長崎大学熱帯医学研究所 臨床研究部門
主な診療分野・疾患	呼吸器、感染症、血液、臓器移植(肝・肺・腎の固体腫瘍)後の患者さん	呼吸器、感染症(HIV等)、渡航者外来
連携	月2回のカンファを行なう(1回は院内コンサルトの症例、もう1回はHIVカンファ)	

■カンファにはコメディカルも参加されているのですか。

古本医師 そうですね。ナースやカウンセラー、薬剤師や栄養士、腎臓内科の先生など他科・他職種の人にも参加していただき、よりよい診療に向けてオール長崎でできるよう考へています。また、検査部には呼吸器内科出身の先生方や優れた細菌検査技師さんがおられるので、従来の検査だけでなく新しい分子生物学的手法を用いて診療をバックアップしてくださいます。

泉州医師 連携のメリットとしては、感染症の治療についてはさまざま

■古本医師 そうですね。ナースや腎臓内科の先生など他科・他職種の人にも参加していただき、よりよい診療に向けてオール長崎でできるよう考へています。また、検査部には呼吸器内科出身の先生方や優れた細菌検査技師さんがおられるので、従来の検査だけでなく新しい分子生物学的手法を用いて診療をバックアップしてくださいます。

泉州医師 連携のメリットとしては、感染症の治療についてはさまざま

■古本医師 そうですね。ナースや

カウンセラー、薬剤師や栄養士、腎臓内科の先生など他科・他職種の人にも参加していただき、よりよい診療に向けてオール長崎でできるよう考へています。また、検査部には呼吸器内科出身の先生方や優れた細菌検査技師さんがおられるので、従来の検査だけでなく新しい分子生物学的手法を用いて診療をバックアップしてくださいます。

泉州医師 連携のメリットとしては、感染症の治療についてはさまざま

クローズアップエリア 長崎

渡航者外来と感染症を
それぞれ診療しながら
合同カンファで連携

■続いて、長崎大学病院で感染症診療を支えている呼吸器内科(感染症班)と感染症内科(熱研)について教えてください。

河田医師 診療の特徴や内容で、どんな違いがあるのでしょうか。

■科から相談を受けることも多くあります。そのやりとりをするにあたって、他科の疾患や手術、解剖についても知つていなければなりません。そういうことを通じて他の分野も学べるところも臨床感染症の面白さでもあります。

古本医師 感染症内科は長崎大学熱帯医学研究所の臨床部門に由来し、現在の研究所では臨床感染症学分野となつており、通称「熱研内科」と言われています。初代教授である松本慶蔵先生が当科に就任され、医学部附属病院の病棟を借りて呼吸器疾患、感染症の診療を始められました。現在はその伝統を継承しながらも新しいスタイルで診療を行っています。それが臓器別の診療体制になっていく中で、熱研内科は感染症内科を担当することになりました。

私たち感染症内科は、長崎大学病院の各診療科(特に外科系診療科、救命救急センター)からの感染症症例、発熱症例の相談、H-I-V感染症、熱帯感染症などを診る機会が多い一方、呼吸器内科の感染症グループは臓器移植後の患者さんや血液悪性腫瘍の患者さんの感染症診療を得意とされています。

泉州医師 以前は感染症内科と呼吸器内科の両方で呼吸器疾患と感染症を診ていましたが、現在は感染症内科の外来では呼吸器疾患は診ずに、渡航者外来(海外旅行者へのワクチン接種や帰国者の感染症の有無をチェック)を行っています。

■その他に連携して取り組んでいることはありますか。

泉州医師 長崎大学病院の全体を考へた場合、お互いの診療科の症例について把握することは重要です。そこで2013年4月から毎2回のペースで合同カンファランスを行い、問題の症例を協議し、お互いに学習できる環境も作っています。

小林医師 H-I-Vなどの感染症に関する定期的に症例提示を行い、活動にディスカッションされるのでとても勉強になりました。どちらの科も得意な分野がわかれていることもあり、それぞれ違うアプローチでのプレゼン能力が求められるので。

■古本医師 私たちが

みな考へ方があるので、自分の得意分野以外の知識も補強できることです。例えばH-I-Vは感染症内科の有吉教授が最も得意とされる分野です。月2回の合同カンファのうち1回は古本先生が司会をされるH-I-Vカンファで、私たちがH-I-Vについて教えていたいたいと思います。そこで常に最新の情報が収集できるのです。

■泉州医師 私たちがH-I-Vについて教えていたいたいと思います。そこで常に最新の情報が収集できるのです。

■古本医師 私たちが

みな考へ方があるので、自分の得意分野以外の知識も補強できることです。例えばH-I-Vは感染症内科の有吉教授が最も得意とされる分野です。月2回の合同カンファのうち1回は古本先生が司会をされるH-I-Vカンファで、私たちがH-I-Vについて教えていたいたいと思います。そこで常に最新の情報が収集できるのです。

■泉州医師 私たちがH-I-Vについて教えていたいたいと思います。そこで常に最新の情報が収集できるのです。

自分の得意分野ではない知識や考えも
補強できることが連携のメリット忍耐強く、
探究心がある人が
感染症医向き

■感染症医には、どんな性格の人が向いていると思いますか。将来の進路として感染症を考えている人へメッセージをお願いします。

古本医師 私たちがしているコンサルトは、主治医の診療支援という側面も含まっています。各科主治医の先生方にも多種多様の考え方があるので、まずは患者さんばかりでな

く主治医の先生の話を聞く事にも徹しながら、どこで折り合いをつけたかを考えてネゴシエートする力も大くなります。だから、我慢強い人が向いていると思います。

また、信念を持つて診療にあることも大事です。微生物と人間との相手にしますので、誰とでもコミュニケーションが取れて仲良くなりたいと思います。

要でしょ。患者さんはもちろん、看護師や技師さんからも情報が得られるので。さらに言えば、例えばH-I-V診療においては、セクシャリティの問題もあります。診療を行つても多種多様な考え方、価値観、人生観などがあることも理解しながら診療に携わつていく姿勢は必要です。

■小林医師 他科の疾患にも関連する可能性がある感染症ですが、やはり感染症が関わると治療方針とかも変わってしまうので、他科の先生の意向を理解しながら、しかもすぐに原因菌や治療がわかるわけでもないので、その感染症がどの程度のものなのか見極めながら進めていくことが重要で、といった進行

■感染症医には、どんな性格の人が向いていると思いますか。将来の進路として感染症を考えている人へメッセージをお願いします。

古本医師 私たちがしているコンサルトは、主治医の診療支援という側面も含まっています。各科主治医の先生方にも多種多様の考え方があるので、まずは患者さんばかりでな

く主治医の先生の話を聞く事にも徹しながら、どこで折り合いをつけたかを考えてネゴシエートする力も大になります。だから、我慢強い人が向いていると思います。

また、信念を持つて診療にあることも大事です。微生物と人間との相手にしますので、誰とでもコミュニケーションが取れて仲良くなりたいと思います。

要でしょ。患者さんはもちろん、看護師や技師さんからも情報が得られるので。さらに言えば、例えばH-I-V診療においては、セクシャリティの問題もあります。診療を行つても多種多様な考え方、価値観、人生観などがあることも理解しながら診療に携わつしていく姿勢は必要です。

■小林医師 他科の疾患にも関連する可能性がある感染症ですが、やはり感染症が関わると治療方針とかも変わってしまうので、他科の先生の意向を理解しながら、しかもすぐに原因菌や治療がわかるわけでもないので、その感染症がどの程度のもののか見極めながら進めていくことが重要で、といった進行

古本朗嗣 医師

- ▶長崎県下五島出身
- ▶鹿児島大学卒業
- ▶医師18年目

最近感動した出来事
ラグビーをしている15歳の長男が長崎県の選抜メンバーに選ばれた。取材当日が、アメリカ留学からの帰国直後に生まれた4男の7歳の誕生日

PROFILE

河田宗一郎 医師

- ▶広島県福山市出身
- ▶兵庫医科大学卒業
- ▶2年目研修医

最近感動した出来事
楽天が優勝したこと、地元の広島カープが何年ぶりかのAクラスでクライマックスシリーズに出たこと

PROFILE

泉州公一 医師

- ▶長崎県出身
- ▶長崎大学卒業
- ▶医師19年目

最近感動した出来事
社会貢献活動として車で小中学校を訪れる移動科学教室「サイエンスカーラボ」を行い、壱岐の小学校で実施した手洗いの練習やGram染色を行ったことが小学生に好評だったこと

PROFILE

小林典子 医師

- ▶東京都出身
- ▶長崎大学卒業
- ▶1年目研修医

最近感動した出来事
誕生日をICUで迎え、朝日が昇ったときに同僚の先生がケーキでお祝いをしてくださった

PROFILE

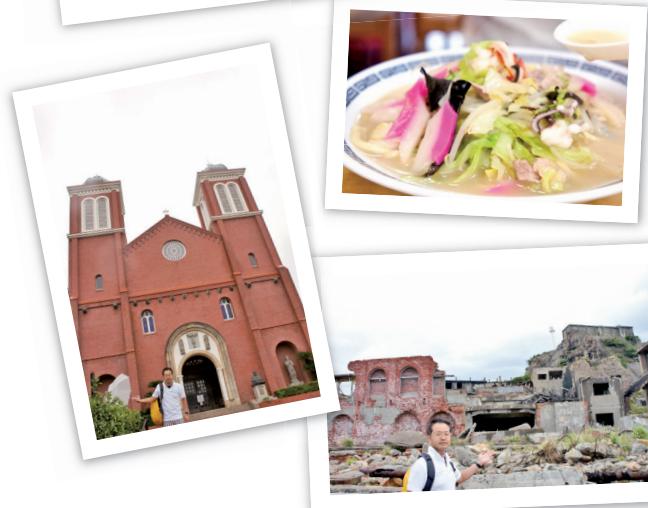
反対に、私たち呼吸器内科が渡航者を診ることはあまりありません。院内では、感染症内科は救急、整形・心臓血管外科の患者さんを、私たちは、血液疾患や臓器移植を受けた患者さんにおける、真菌などをはじめとした日和見感染症の「コンサルト」を得意としています。このように、お互いに得意分野の診療をしながら、共有する必要な性がある症例があれば電話やカンファレンスなどすぐに相談できる体制が整っています。



取材担当者の
長崎取材後記

長崎取材の詳細は、iCrip「マッチング情報局」で公開中!!

マッチング情報局で検索

新・鳴滝塾 事務局長の濱田先生に特集
「医療ニュースの見方」を伺いました

新・鳴滝塾

病院見学時の
旅費サポートあり

長崎県で初期・後期研修、Jターン、Uターンをお考えの皆さんの為の公的機関によるサポートシステムが「新・鳴滝塾」です。ぜひ長崎であなたの夢をかなえて下さい。

長崎大学病院、長崎市立市民病院、長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院、長崎北徳洲会病院、長崎医療センター、市立大村市民病院、健康保険諫早総合病院、長崎県島原病院、佐世保市立総合病院、長崎労災病院、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎県五島中央病院、長崎県上五島病院、長崎県対馬いづら病院



取材担当の福島です。今回も取材を行うとともに、長崎市内にある先生おすすめのお店や名所へ行きました。取材前に長崎ちゃんぽん、取材後には先生いきつけの寿司屋で新鮮なネタを堪能。翌日、世界遺産の候補地・軍艦島やカトリック教会の浦上天主堂へ。長崎を訪れて改めて感じたのは、「人の温かさ」。僕のように県外から来た人を笑顔で迎え、気さくに接してくれます。研修もプライベートも、充実できる環境です。

イベント

2014年3月2日(日) レジナビフェアin福岡
2014年3月21日(金) レジナビフェアin東京携帯電話からの病院見学の
エントリーはこちらから

長崎県医師臨床研修協議会【新・鳴滝塾】

<http://www.narutaki-jyuku.jp> info@narutaki-jyuku.jp

クローズアップエリア 長崎

泉川医師 考える過程が好きな人が向いていると思います。100例のうち、95例は同じだけ、5例だけ違うといった症例があつたりするので、その5例を面白いと思って、その症例の経験を積むことに喜びを感じるような人が向いているでしょうね。

また、どちらかと言えば手先の器用さや手技のうまさが求められるシンはそれほどありません。そういう部分よりは、薬の選択肢がいくつかある中で、何でもカバーしてくれるような薬をよく考えずに選ぶのではなくて、その中で、効果の強い最適な薬を選ぶ技量を身につけ、効率のいい治療を選ぶことが樂しまれる人。古本先生が言われるように、個々の主治医の先生方の考え方いろいろと出てきます。やはり人の話がよく聞けない方は難しいと思

まずは長崎県の市中病院を「オール長崎」として盛り上げながら、さらには県外の病院とも連携できたらと思っています。また当院には国際的な仕事ができる場もあるので、そういう場を広げながら、国際的な仕事ができる医師を育成していくたいとも考えています。

これから時代の医療では、感染症科を専門にしなくても、科を染制御や安全管理の優れた専門医やスタッフがいます。はじめとした院内発症の感染症もしっかり診ることもできますし、感染症科を専門にしなくても、科を問わず様々な感染症が関わってきます。そんな状況の中で当院は、社会や医療全体をマクロな視点で見る医師を育てる環境としては理想的です。少しでも興味がある方はぜひ当院で研修を受けて将来、感染症に対する正しい治療戦略を持つ能力を身につけて欲しいと思います。

古本医師 初期研修の2年間はアツという間です。研修を終えて一人前になれるわけでもないのですが、焦らなくていいと思います。多くの医師ができるようになつた人を見た問題解決のためにどのように診療を進めていくかという考え方や、プレゼンテーション力をしっかりと構えていればよいのです。

確かに手技も大事ですが、初期研修の2年間では患者さんに生じた問題解決のためにどのように診療を進めていくかという考え方や、プレゼンテーション力をしっかりと身につけて欲しいと思います。

ナガサキ 新・鳴滝塾
ALL NAGASAKI

をする上では「コミュニケーション力が欠かせません。」

います。そのような方は、医師そのものが不向きかもしれません。(笑)。

■最後に医学生へメッセージを。
古本医師 長崎には「新・鳴滝塾」があるので、いろいろな研修プログラムがあります。私自身としては市中病院での感染症の教育や診療をさらに良くする必要性があると感じているので、そこをどう盛り上げていくかという戦略を泉川先生と一緒に考えてています。

- 研修医が主体的に行う
- 研修“イデ chin”とは

イデ chinとはInfectious Disease Educational Case Conference In Nagasakiの頭文字をとった「IDECCIN」のことで、「研修医の研修医による研修医のための感染症ケースカンファレンス」。研修医が実際に経験した症例を持ち寄って、症例発表やクイズなどを通して感染症診療の原則やTipsを学ぶ勉強会で、感染症の重要なポイントを皆で共有しながら、研修・診療にもつなげられると好評です。泉川先生もコメントーターとして参加していて、曰く「研修医同士が症例について話し合う貴重な機会なので、ぜひ続けていってほしい」とのこと。

